

# 電気料金メニュー定義書

【おすまいでんき2】

令和2年3月10日

株式会社ヒナタオエナジー

## 目次

1	実施期日 .....	3
2	定義.....	3
3	単位および端数処理 .....	3
4	適用条件 .....	4
5	供給電気方式、供給電圧および周波数.....	4
6	契約容量 .....	4
7	電気料金 .....	4
8	適用期間 .....	5
9	契約容量の変更 .....	5
10	おすまいでんき2の定義書の変更および廃止.....	6
	別表 .....	7
1	燃料費調整.....	7
2	契約容量および契約電力の計算方法.....	9

電気料金メニュー定義書【おすまいでんき2】（以下「おすまいでんき2の定義書」といいます。）は、当社の電気需給約款（以下「電気需給約款」といいます。）にもとづき、電灯または小型機器をご使用のお客さまへ電気を小売するときの料金その他の条件を定めたものです。

なお、おすまいでんき2の定義書に定める基本料金、電力量料金および燃料費調整における基準単価の金額は、全て消費税等相当額を含みますが、消費税率が改定された場合は、改定後の消費税率にもとづき清算します。

## 1 実施期日

おすまいでんき2の定義書は、令和2年3月10日より実施します。

## 2 定義

次の言葉は、おすまいでんき2の定義書において、それぞれ次の意味で使用します。なお、電気需給約款に定義される言葉は、おすまいでんき2の定義書においても同様の意味で使用します。

### (1) 貿易統計

関税法にもとづき公表される統計をいいます。

### (2) 平均燃料価格計算期間

貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき平均燃料価格を計算する場合の期間とし、毎年1月1日から3月31日までの期間、2月1日から4月30日までの期間、3月1日から5月31日までの期間、4月1日から6月30日までの期間、5月1日から7月31日までの期間、6月1日から8月31日までの期間、7月1日から9月30日までの期間、8月1日から10月31日までの期間、9月1日から11月30日までの期間、10月1日から12月31日までの期間、11月1日から翌年の1月31日までの期間または12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間とします。）をいいます。

## 3 単位および端数処理

おすまいでんき2の定義書において電気料金その他を計算する場合の単位およびその端数処理は、次のとおりとします。

### (1) 契約容量の単位は、1キロボルトアンペアとし、その端数は、小数点

以下第1位で四捨五入します。

#### 4 適用条件

おすまいでんき2の定義書にもとづく電気料金メニュー（以下「おすまいでんき2」といいます。）は電灯または小型機器をご使用のお客さま向けのメニューとし、次に該当するものに適用します。

- (1) 契約容量が6キロボルトアンペア以上であり、かつ、原則として50キロボルトアンペア未満であること。

#### 5 供給電気方式、供給電圧および周波数

供給電気方式および供給電圧は、交流単相2線式標準電圧100ボルトもしくは200ボルトまたは交流単相3線式標準電圧100ボルトおよび200ボルトとし、周波数は、標準周波数50ヘルツとします。ただし、技術上やむをえない場合には、交流3相3線式標準電圧200ボルトとすることがあります。

#### 6 契約容量

- (1) 契約容量は、1年間を通じての最大の負荷を基準として、以下のいずれかに従い決定します。ただし、いずれの場合も必要に応じて、契約主開閉器の定格電流にもとづき、別表2（契約容量および契約電力の計算方法）により計算された値等に決定することがあります。

- ① 他の小売電気事業者から当社へ契約を切り替える場合は、原則として、他の小売電気事業者との契約終了時点の契約容量の値を引き継ぐものとします。
- ② 引越し（転入）等の理由で、新たに電気の需給を開始する場合は、原則として、需給開始時点でご使用場所ごとに設定されている契約容量の値とします。

- (2) 契約容量が、(1)ただし書にもとづき、契約主開閉器の定格電流にもとづき計算された値となる場合には、あらかじめ契約主開閉器を設定していただくとともに、当社および送配電事業者は、契約主開閉器が制限できる電流を、必要に応じて確認します。

#### 7 電気料金

- (1) 基本料金

基本料金は、1か月につき次のとおりとします。ただし、まったく電気を使用しない場合の基本料金は、半額とします。



翌々月の電気の計量日より始まる使用期間の電気料金の計算に適用します。ただし、お客さまが新たな電気需給契約の申し込みと同時に、従前の小売電気事業者との契約にもとづく契約容量の変更を希望する場合には、この限りではありません。

- (2) お客さまは、やむを得ない場合を除き、お客さまが契約容量を新たに設定もしくは変更した後の計量日から1年目の日が属する月の計量日まで、契約容量を変更することはできません。
- (3) 契約容量の変更にともない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、電気需給約款4（本約款等の変更）（2）および（3）に準じます。

## **10 おすまいでんき2の定義書の変更および廃止**

- (1) 当社は、おすまいでんき2の定義書を変更する場合には、電気需給約款4（本約款等の変更）に準じます。
- (2) 当社は、おすまいでんき2の定義書を廃止することがあります。この場合、当社はあらかじめ一定期間、廃止のお知らせおよび廃止日を当社ホームページに掲載します。
- (3) おすまいでんき2の定義書の廃止にともない、当社がお客さまに対し、供給条件の説明、契約締結前の書面交付および契約締結後の書面交付を行う場合は、電気需給約款4（本約款等の変更）（2）および（3）に準じます。

# 別表

## 1 燃料費調整

### (1) 燃料費調整額の計算

#### ① 平均燃料価格

原油換算値1キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって計算された値とします。

なお、平均燃料価格は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で四捨五入します。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta + C \times \gamma$$

A = 各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格

B = 各平均燃料価格計算期間における1トン当たりの平均液化天然ガス価格

C = 各平均燃料価格計算期間における1トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.1970$$

$$\beta = 0.4435$$

$$\gamma = 0.2512$$

なお、各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格および1トン当たりの平均石炭価格の単位は、1円とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入します。

#### ② 燃料費調整単価

燃料費調整単価は、次の算式によって計算された値とします。

なお、燃料費調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入します。

イ 1キロリットル当たりの平均燃料価格が44,200円を下回る場合

燃料費調整単価

$$= (44,200 \text{円} - \text{平均燃料価格})$$

$$\times ((2) \text{ の基準単価} \div 1,000)$$

ロ 1キロリットル当たりの平均燃料価格が44,200円を上回る場合

燃料費調整単価

$$= (\text{平均燃料価格} - 44,200 \text{円})$$

$$\times ((2) \text{ の基準単価} \div 1,000)$$

### ③ 燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格計算期間の平均燃料価格によって計算された燃料費調整単価は、その平均燃料価格計算期間に対応する燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用します。

各平均燃料価格計算期間に対応する燃料費調整単価適用期間は、下表中の「燃料費調整単価適用期間A」欄に記載のとおりとします。ただし、需給開始日と、需給開始日以降到来する計量日が同じ月に属する場合には、下記表中の「燃料費調整単価適用期間B」欄の記載のとおりとします。

平均燃料価格計算期間	燃料費調整単価適用期間A	燃料費調整単価適用期間B
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の5月の計量日から6月の計量日の前日までの期間	その年の5月の需給開始日から5月の計量日の前日までの期間
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の6月の計量日から7月の計量日の前日までの期間	その年の6月の需給開始日から6月の計量日の前日までの期間
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の7月の計量日から8月の計量日の前日までの期間	その年の7月の需給開始日から7月の計量日の前日までの期間
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の8月の計量日から9月の計量日の前日までの期間	その年の8月の需給開始日から8月の計量日の前日までの期間
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の9月の計量日から10月の計量日の前日までの期間	その年の9月の需給開始日から9月の計量日の前日までの期間
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の10月の計量日から11月の計量日の前日までの期間	その年の10月の需給開始日から10月の計量日の前日までの期間
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の11月の計量日から12月の計量日の前日までの期間	その年の11月の需給開始日から11月の計量日の前日までの期間

毎年8月1日から10月31日までの期間	その年の12月の計量日から翌年の1月の計量日の前日までの期間	その年の12月の需給開始日から12月の計量日の前日までの期間
毎年9月1日から11月30日までの期間	翌年の1月の計量日から2月の計量日の前日までの期間	翌年の1月の需給開始日から1月の計量日の前日までの期間
毎年10月1日から12月31日までの期間	翌年の2月の計量日から3月の計量日の前日までの期間	翌年の2月の需給開始日から2月の計量日の前日までの期間
毎年11月1日から翌年の1月31日までの期間	翌年の3月の計量日から4月の計量日の前日までの期間	翌年の3月の需給開始日から3月の計量日の前日までの期間
毎年12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間）	翌年の4月の計量日から5月の計量日の前日までの期間	翌年の4月の需給開始日から4月の計量日の前日までの期間

#### ④ 燃料費調整額

燃料費調整額は、その1月の使用電力量に②によって計算された燃料費調整単価を適用して計算します。

#### (2) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値で、次のとおりとします。

1キロワット時につき	0.232円
------------	--------

#### (3) 燃料費調整単価等

(1)①の各平均燃料価格計算期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均液化天然ガス価格、1トン当たりの平均石炭価格および(1)②によって計算された燃料費調整単価は、本小売電気事業者のホームページの値を使用します。詳細は以下をご覧ください。

<https://home.tokyo-gas.co.jp/power/ryokin/shikumi/chousei.html>

## 2 契約容量および契約電力の計算方法

お客さまが契約主開閉器により契約容量または契約電力を定めることを希望される場合で、当社がその旨を承諾する場合の契約容量または契約電力は、次により計算します。

- (1) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 1 0 0 ボルト  
もしくは 2 0 0 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 1 0 0 ボルトおよ  
び 2 0 0 ボルトの場合

契約主開閉器の定格電流 (アンペア)

× 電圧 (ボルト)

× (1 ÷ 1, 0 0 0)

なお、交流単相 3 線式標準電圧 1 0 0 ボルトおよび 2 0 0 ボルトの場合  
の電圧は、2 0 0 ボルトとします。

- (2) 供給電気方式および供給電圧が交流 3 相 3 線式標準電圧 2 0 0 ボルト  
の場合

契約主開閉器の定格電流 (アンペア)

× 電圧 (ボルト)

× 1. 7 3 2

× (1 ÷ 1, 0 0 0)